

学力向上を図るための全体計画

<関係法令等>	
・日本国憲法 ・教育基本法 ・学習指導要領等	

各教科の指導の重点	
(国語)	音読や漢字の繰り返し練習や読書指導を充実させるとともに、自分の考えを伝え合う力を高めるための指導の充実を図る。
(社会)	地域社会から学ぶ体験的な学習や問題解決的な学習を充実させ、学習内容の定着を図る。
(算数)	平成27年度から令和2年度まで継続した校内研究の実践を生かし、思考力・表現力を高める指導の充実を図る。
(理科)	観察・実験に重点をおき、主体的な学習を通して、基礎基本の定着を図る。
(生活)	具体的な活動や体験、他との関わりを通して、生活上必要な習慣や技能を身につけ、自立への基礎を養う。
(音楽)	さまざまな音楽活動から基礎的な知識・技能を身につけ、豊かな情操を培う。
(図画工作)	造形的な創造活動の基礎的な能力を育てる。
(家庭)	個に応じた指導を工夫し、日常生活に必要な基礎基本の力の定着を図る。
(体育)	運動を楽しむ活動やめあて達成に向け友達と関わりながら工夫して運動に取り組む活動を充実させ、運動に親しむ資質や能力を育てるとともに体力の向上を図る。
(外国語)	日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しむことができるようとする。外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどをすすんで伝え合うことができる基礎的な力を養う。

総合的な学習の時間の指導の重点	
横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。	
また、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようとする。	

外国語活動の指導の重点	
・言語や文化について体験的に理解を深める。 ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。 ・外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむができるようとする。	

<学校教育目標> けやきの子	
◎かしこく やさしく たくましく 社会に貢献しようとする高い志をもち、知恵と実践力を備え、他者と協働しながら、価値を創造していける自立した人間を育てるために小学校の発達段階に応じた教育の役割を果たしていく。	

学校経営方針 (学力向上にかかわる要点)	
子供たち一人一人を大切にする学校 確かな学力を身に付ける学校	

【個に応じた支援と指導の充実】					
子どもたちの個性や特性を的確に捉え、学年・専科等で指導上必要な情報を適切に共有し、個に応じた支援と指導を充実させる。					
校内研究を柱として「授業力向上」の視点を常にもち、指導と評価の一体化を図る。	何ができるようになるか	個別最適な学び 協働的な学び	何が身に付いたか	何を学ぶのか	子供の発達をどのように支援するのか
・言語活動の充実による言語能力 ・読書活動による多くの語彙や多様な表現力の向上 ・思いや考えを基に構想する力	個別最適な学び 協働的な学び	・主体的・対話的で深い学びの実現 に向けた授業改善 ・学習評価の充実	どのように学ぶか	・各教科における言語能力や情報活用能力の向上を柱に問題解決的な思考力・判断力・表現力を身に付ける。 ・読書活動の充実により、想像力、情報集力・活用能力の向上を図る。 ・健康・安全・食に関する力を身に付ける。 ・自然環境や資源の有限性等の中で、持続可能な社会をつくる力を身に付ける。	・見通しをもって粘り強く取り組む。自己の学習活動を振り返り次につなげる。 「対話的な学び」 ・子供同士の協働、教師や地域の人との対話を通じて自己の考えを広げ深める。 「深い学び」 ・既習の知識を相互に関連付けて深く理解し、問題を見いだして解決策を考え、思いや考えを基に想像する。
【教職員の連携】 ①認め、励まし、褒める指導体制 一人一人に居場所のある学級経営 ②言語環境の整備	【家庭・地域との連携・協働】 ①保護者・地域の人材の活用 ②幼保小の連携、小中一貫教育 ③体験活動の充実	実施するために何が必要か			

6.3 練馬区立南が丘小学校

<期待する児童像>	
自分の考えをもつ子 分かりやすく話そうとする子 考えのよさを認めあえる子	

「特別の教科 道徳」の指導の重点	
道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。	

生活指導の指導の重点	
・児童一人一人を理解し、自主的な行動をとれる児童を育てる。 ・日常生活の基本行動の仕方を教える、望ましい生活習慣を育てる。 ・生命尊重の心を養い、すすんで健康安全に心を配る児童を育てる。 ・児童相互の人権を尊重し合う人間関係の育成に努める。 ・児童の個性や能力の伸長を図り自己実現が図れるよう支援する。	

特別活動の指導の重点	
・児童の人間関係を育み、友達と助け合う心と豊かな心を育てるため、異年齢集団活動の充実に努める。 ・児童による自発的、積極的な取組を通して、一人一人の児童に自分への自信をもたせ、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を身に付けられるように指導する。	

キャリア教育の指導の重点	
・自分や友達のよさに気付き、得意分野を伸ばし、学び合い、助け合うとする態度を育てる。 ・将来への夢や希望をふくらませながら、学ぶことや働くことの意義を理解できるようとする。 ・目標に向かって努力し、自ら課題を見付け、自分でやり遂げようとする態度を育てる。	

本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点